

(社)土木学会 関西支部 FCC2003

FCCサロン

土木学会関西支部・フォーラムシビルコスモス(FCC)は、土木界が抱えるさまざまな問題の解決をめざして、21世紀の社会資本整備を円滑に実施し、豊かな国土づくりを進めるために、土木界がいかにあるべきかを議論し、それらに関する情報発信・受信基地となる場を提供すべく活動を続けております。

本年度は、毎回コーディネータが、土木が抱える問題、将来展望といった時宜性の高いテーマを選び、講師による講演と参加者相互で議論を戦わせる「FCCサロン」を6月から2ヶ月に1回のペースで実施することにいたしました。

参加資格は特に設けておりませんので、どなたでも参加いただけます。奮ってご参加下さい。

第6回 公開自由討論会 今の土木に思うこと

日 時：平成16年3月12日(金) 18:30~20:00

会 場：大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)

(大阪市中央区大手前1-3-49 / TEL. 06-6910-8500 地下鉄・京阪天満橋駅下車 番出口から東へ350m)

参加費：無料(定員：50名)

コーディネータ：(株)大林組 本店土木営業第一部 課長 羽田 武司

企画の内容

FCCでは、過去十数年にわたり土木業界の課題について議論を重ねてまいりました。また本年度は、当FCCサロン(過去5回)とフォーラムで、各方面からの話題提供者を招聘し、土木との関わりや土木の将来像について考えてきました。

そこで今回は、参加者全員が討論(意見交換)の主役となって、今の土木について語り合う場を設けたいと思い、“**公開自由討論会 今の土木に思うこと**”を企画しました。これはまさに従来のFCCそのものの姿ですが、今まで公開で…という機会がなかったようです。

今回のサロンでは、いくつかのテーマ(切り口)を用意して、ランダムにテーマを選んで議論する形式で進めます。参加者のみなさまから忌憚なきご意見をお聞かせ願えればと思います。今回の企画は、結論を導くためのサロンではありませんので、気楽にご参加ください。脱線、私見、おおいに結構です。

今現在土木業界に身をおかれている方、これから土木に入ろうとする学生のみなさん、教育の分野で活躍されている方、これまでのFCCの活動に興味をもたれた方、昨今の土木のあり方にご質問やご意見をお持ちの方等々できるだけ多くの方にご参加いただければ幸いです。

ともに語り合い、今一度“土木”について考えてみましょう。

第6回 FCCサロン 『公開自由討論会 - 今の土木に思うこと - 』

1. 日 時 平成16年3月12日(金) 18:30~20:00
2. 会 場 ドーンセンター 5階大会議室(1)
3. 参加者 25名
4. コーディネータ (株)大林組 本店土木営業第一部 課長 羽田 武司
5. 企画内容 今回のサロンは用意した6点のテーマから、参加者がランダムに選択したテーマについて討論が行われました。

テーマ “土木技術”は売り物になるか? - 土木の値段 -

テーマ 土木は無くなる?残る? - 脱土木ばかりでいいのか? -

テーマ 土木 - これからの人材 -

テーマ アカウンタビリティ(説明責任) - 世論?市民の意志?とは -

テーマ 自然環境の保全と土木の役割 - どこまで通す、人間のワガママ -

テーマ 産・官・学 - これからの土木界のあり方 -

用意したテーマは上記の6点で、 、 、 の3点が選択され、参加者が日々思われている意見や疑問について活発な意見交換がされました。

テーマ “土木技術”は売り物になるか? - 土木の値段 -

- 意見 -

・昨今のニーズは『早く、安く』。品質がいいのは当たり前。

・新技術も1社だけの物では採用されにくく、2,3番手として追随していく方が楽といった風潮があるので、技術力をつけて値段で挑む気がしないのでは?

・民間工事では、技術的な努力が利益に反映する事があるが、官庁工事では会計検査等があるために思い切った事が出来ない(前例主義)。このシステムを何とかしなくてはならないのでは?

・工事の適正価格は高かったと言われているが、技術力を持っているのが官から民に移った現在では、逆に安すぎるのでは?

・官は、何故、コンサルに工事価格の相談をするのか?コンサル費は無駄なのでは?また、行政との付き合いの中で手間がかかりすぎたり、オーバー・パックを要求されたりするため、事業費が高くなる仕組みになっているのでは?

・最近の発注方式（総合評価方式他）は問題があるのでは？（発注者側にのみ都合の良い方式？）

テーマ 土木 - これからの人材 -

- 意見 -

- ・学校はどのような学生を世に出そうとしているのだろうか？
- ・学校教育（特に工学関係）では know-how 教育が基本。幅広い教育をベースにした上で know-how 教育をしなければならないが、それだけではダメな領域になっている。
- ・若い人の資質が低くなっているのでは？
- ・若い学生の、国際感覚・情報収集能力は良くなってきている。
- ・土木学科の不人気の問題。
- ・人材は、育てる側の資質。
- ・企業としては、project を management できる人材が欲しい。
- ・マネジメントは浅く広い知識が必要。
- ・リーダーシップ（調整能力）を持った人材が必要なのでは？

テーマ アカウンタビリティ（説明責任） - 世論？市民の意志？とは -

- 意見 -

- ・通常は官が民に説明する物だが、マスメディアを介する事が多いために偏った形で民に伝わっている。もっと、積極的に説明する努力が必要では？
- ・請負業者としては、説明責任がなされていないがために、物を造った後に無駄であるかのようなことをいわれるのはつらい。
- ・合意形成と言う点では、一般市民向けの説明は不足している。（ただし、分かり易いプレゼン等に、行政も力を入れ始めている。）
- ・市民は、公共の利益を考えているのだろうか？
- ・事業が決定される前に、色々な手段を市民に説明するべき。
- ・説明する方が内容を理解しているのだろうか？
- ・今の世論は、純粋な市民の意志ではなく、マスメディアによって造り出されたもの？